

第4期宮城県食育推進プラン最終案の概要

コンセプト：次世代へ伝えつなげる食育の推進 ～健やかに、宮城で生きる～

計画期間：令和3年度～7年度

策定の趣旨

1 これまでの経緯

■第1期プラン（H18～22）

平成18年11月に食育基本法に規定する都道府県食育推進計画として食育を総合的・計画的に推進するため策定

■第2期プラン（H23～27）

本県の食育の課題と特徴を踏まえ「適正体重の維持」、「地域食材の活用」の行動目標を設定し、「意識の向上から行動へ」をコンセプトに

■第3期プラン（H28～R2）

前期の行動目標を引き継ぎつつ、子どもや若い世代を中心とした食育に重点を置き展開

2 第4期プラン策定概要

■第3期の目標達成状況（全20項目）

目標達成	5項目
改善傾向	1項目
ほぼ変化なし	11項目
悪化傾向	1項目
評価不能	2項目

主な目標の達成状況

- 3歳児のむし歯のない人の割合の増加
- 県産食材を使用した郷土料理を提供する学校給食施設の増加
- みやぎ食育コーディネーターの活動の拡大
- ×児童の肥満やメタボリックシンドローム該当者・予備群は、依然として全国下位
- ×若い世代の食に関する意識や実践に課題

■国の動向や食にまつわる様々な状況

- ・国：第4次食育推進基本計画（R3～R7）
- ・食育によるSDGsの目標達成への貢献が期待されている
- ・震災、気象災害など非常時に命を守るための「食の備え」の必要性
- ・新型コロナウイルス対策のための「新しい生活様式」における食事のとり方等の変容



これらを踏まえた
宮城らしいプラン

食育を次世代へ継承していくため、子どもや、これから親となる若い世代を中心とした食育に重点的に取り組む

基本目標

- 1 県民一人一人が、食を生きる上での基本としてとらえ、健全な食生活と心身の健康増進を目指します
- 2 多彩で豊富な宮城の食材の理解と食文化の継承を通して、豊かな人間形成を目指します

行動目標

自らの食についてしっかり考え、食に関する知識や食べ物を選択する能力を習得し、宮城の豊富な食材を活用したバランスのとれた食生活を実践します。

食育推進の基本方向

1 健全な食生活に必要な知識の習得と実践能力の育成

2 宮城の風土に育まれた食材・食文化の理解と継承

3 食の安全安心の推進と非常時への備え

4 多様な機関の連携・協働による食育の推進

重点施策

施策1 食育を通じた健康づくり

- Plan1 生涯を通じた健康づくり**
- ・第2次みやぎ21健康プランの推進
 - ・子どもの基本的な生活習慣の定着促進
- Plan2 健全な食生活の実現**
- ・望ましい食習慣の形成と実践促進
 - ・食卓を囲んだ食育の推進
 - ・給食を通じた食育の推進

施策2 「食材王国みやぎ」の理解と継承

- Plan3 農林漁業への理解と地産地消の推進**
- ・農林漁業体験等による産業への理解促進
 - ・地域食材への理解と愛着の醸成【変更】
 - ・生産者や食品関連事業者等と連携した取組
 - ・給食等における県産食材の利用促進
 - ・農産物直売所の活用による生産者と消費者の交流
 - ・食品ロス削減に向けた啓発活動【新規】
- Plan4 食文化の継承**
- ・地域における継承活動への支援
 - ・給食等における地域の郷土料理や食文化の紹介

施策3 生きる力を育てる食育

- Plan5 食の安全安心の推進**
- ・食の安全安心に関する知識の普及
 - ・食品表示の適正化の推進
 - ・食の安全安心県民総参加運動への参加促進
- Plan6 非常時への備えの啓発【新規】**
- ・家庭における備えの啓発
 - ・給食施設における備えの促進

施策4 みんなで支えあう食育

- Plan7 食育支援ネットワークの強化**
- ・関係団体、食品関連事業者等の相互の連携強化
- Plan8 食育推進の環境づくり**
- ・子どもや若い世代への食育推進体制の強化
 - ・食育に関わる人材の育成・活動支援
 - ・食品関連事業者等の取組の推進

計画の目標

- 1 食育を通じた健康づくり
 - ・朝食を毎日食べる人の割合
 - ・1日当たりの食塩摂取量／野菜摂取量
 - ・ゆっくりよく噛んで食事をする人の割合
 - ・12歳児のむし歯のない人の割合【変更】
 - ・メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合
 - ・肥満傾向児の出現率 等
- 2 「食材王国みやぎ」の理解と継承
 - ・学校給食の地産農林水産畜産物の利用品目数の割合【変更】
 - ・宮城県産の食材を使用した郷土料理を年10回以上提供している学校給食施設の割合 等
- 3 生きる力を育てる食育
 - ・みやぎ食の安全安心消費者モニターの活動率
 - ・災害時に備えて非常用食料を用意している世帯の割合【新規】
- 4 みんなで支えあう食育
 - ・みやぎ食育コーディネーターによる食育推進活動への参加人数

（※主なものを記載 目標指標数：18）

関係機関等との連携・協働

家庭・幼児教育施設・学校・職場・関係団体・生産者・食品関連事業者・行政機関等

ライフステージに応じた食育の取組

各ライフステージの特徴を踏まえた食育の推進

子ども	若い世代	働き盛り世代	高齢期
～18歳	19歳～39歳	40歳～64歳	65歳～

～次世代へ伝えつなげる食育の推進～

《県民運動への展開》
～目標達成を目指して～

SDGsの目標達成に向けた食育の推進 ・ 新しい生活様式やデジタル化に対応した食育